

閩南師範大学交換留学レポート

2026年4月30日

L214005 阿武 佳祐

閩南師範大学での交換留学もあと二ヶ月強となりました。一年間の留学と言うと長く感じますが、夏季と冬季の休暇があるので、実際に留学する期間は9ヶ月程になりそうです。

1.後期の授業と聴講について

後期では、2つ程自分の授業を免除してもらい、空いた時間に他の学部の授業を2つ程聴講することにしました。注意点として、中国の大学は一般的にシラバスに当たるものがないため（学院毎に固定のスケジュールがあるみたいです）、もし何か聴講したい場合は、友達や学部の先生に尋ねてみるしかないようです。また、続けて聴講したい場合は、自分自身で伝えるか、留学生担当の先生伝に伝えてもらうようにすれば、授業中に当てられる等の心配も不要になるでしょう。

2.宿舎の電気代と水代について

宿舎内の電気代と水代は「楽雲一卡通」という wechat 内のプログラムを通してチャージするのですが（このアプリで食堂や校内バスでの支払いにも使えます）、そのプログラムへのチャージは何故か中国農業銀行のカードにしか対応していません。そしてボランティアの方と一緒に作ってもらえるのは中国建設銀行のカードです。つまり、これも1と同様に人づてによるチャージとなります。留学始めで宿舎に来たとき、もし自分が一人目なら200元程まとめてチャージを頼んでも良いかもしれません。

3.VPN について

ご存知の方も多いかと思いますが、中国内では google 等のページは金盾というフィルタリングシステムによりブロックされていて使えません。そこで、VPN というものを使えばそれらのサービスに繋げるのですが、ただ google play store や app store で VPN と調べてト

ップに出てくるようなものは、繋がりにくかったり夜に速度が極端に遅くなったりします。この現象は、金盾がVPN接続を見破っているため発生するようです。そこで、中国の検閲システムを考慮したVPNの利用が必要となってきます。

その方法の内1つとして、UCSS、かべねこVPN、スイカVPN等、中国対応を謳うVPNサービスを使うことです。難しい設定も不要で、簡単に接続できます。もう1つとして、サーバーを借りて、自分だけのVPNを作る方法があります。「xray」「vless reality」等で調べると大まかな作り方が出てきます。これに関しては、新たな方法がでては対策されてのいたちごっこなので、もし興味があれば最新の情報を調べてみてください。

4.最後に

4月時点で外が大分暑いので、体調に気をつけつつ授業を受けていくようにします。また、帰国したら直ぐにHSK6級を受けるつもりなので、それに向けて少しずつ勉強していきたいです。



3月に常葉大学の学生さん方が来られたので、いくつかお邪魔してみました。この写真はお茶体験のときのものです。その他の内容に関しては以下から確認できます。

(<https://www.tokoha-u.ac.jp/news/260330-2/>)